

2024年5月9日

国際農業開発基金が発行する「サステナブル・ボンド」への投資について
～途上国のヘルスケア&ウェルネス向上を支援する本邦初の債券～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、国際農業開発基金（以下「IFAD」）が発行するサステナブル・ボンドに75百万豪ドル（約75億円）を投資しましたのでお知らせします。途上国の人々に栄養価が高く安全な食事を提供することにより、ヘルスケア&ウェルネスの向上を支援する本邦初の債券として、当社単独で投資を実行しました。

現在、世界中で約30億人が栄養価の低い食生活をしており、20億人以上がビタミンやミネラル等の栄養不足に苦しんでいるといわれています。適切で手頃な価格の栄養価の高い食事へのアクセス支援は、そのような人々の健康増進に役立つだけでなく、身体的および知的能力を最大限に発揮することにつながり、生涯を通じてより良い生活を送ることに貢献します。

本債券は、IFADのサステナブル・ディベロップメント・ファイナンス・フレームワーク^(注1)に基づいており、調達された資金は、途上国における栄養価の高い食物の安定供給を含むプロジェクトに充当される予定です。

(注1) 当該フレームワークの詳細については以下リンクをご確認ください

<https://www.ifad.org/documents/d/guest/ifad-sustainable-development-finance-framework-2023>

【本債券の概要】

発行体	国際農業開発基金（IFAD）		
債券の購入額	75百万豪ドル（約75億円）		
払込期日	2024年5月9日		
償還期限	2039年5月9日		
本件と関連が深いSDGs目標	 <p>1 貧困をなくそう</p>	 <p>2 飢餓をゼロに</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>

【ご照会先】
広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

ひとに健康を、まちに元気を。



当社では、「明治安田フィロソフィー」を経営の根幹に据え、「10年後（2030年）にめざす姿」を『ひとに健康を、まちに元気を。』最も身近なリーディング生保へ』と定めています。また、SDGsにおける17のゴール、およびこれらに内包される169のターゲットから導き出される社会課題のうち、「健康寿命の延伸」を優先課題の一つに設定し、課題解決に向け「みんなの健活プロジェクト」^(注2)を通じて、「“けんしん”と予防」の健康改善サイクルの継続を後押ししています。

当社は責任ある機関投資家として、ESG投融資を通じてグローバルな環境・社会課題の解決と国内地域経済活性化等の地域貢献により社会的価値を創出し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

(注2)「“けんしん”と予防」をコンセプトとして、「“けんしん” 応援型」の健康増進保険をご提供し、お客さまに定期的に“けんしん”（健康診断・がん検診等）を受けていただくとともに、お客さまの疾病「予防」に向けた前向きな活動を後押しすることで、QOLの向上と健康寿命延伸への貢献をめざす取り組み

プロジェクト詳細：<https://www.meijiyasuda.co.jp/brand/kenkatsu/>

【IFADの関連プロジェクト事例】^(注3)

■ニジェール：農村住民の食料安全保障をサポート

このプロジェクトは、農業の生産性が低く、天然資源が少ないマラディ地域の農村住民に、十分かつ栄養価の高い食料を安定的に供給することをめざしています。

農村地域等の18の共同体で実施され、主に女性、若者、子どもを含む45万人以上の人々に恩恵をもたらす予定です。



(注3) IFADのプロジェクトの一例であり、今回の債券による資金の活用を上記プロジェクトまたはその分野に限定するものではありません

以上